

# 施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (5) 学びによる生きがいの創出

(評価担当者)

教育部長

草川 吉次

## 基本施策が目指す姿

市民が、それぞれの学びの成果によって、地域社会で活躍しています。

## 関連する分野別計画

亀山市生涯学習計画

## 成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	市立図書館の入館者数	人	104,474	H27	101,783	102,247				120,000
2	生涯学習講座の受講者数	人	25,320	H27	24,185	22,106				27,850
3	生涯学習人材バンクを活用した講座開催数	回	14	H27	12	12				17
4										
5										

## 市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 生涯学習講座が充実している	重要度	0.91	0.83	3項目のそれぞれの重要度は概ね5割から6割程度で、それに対して満足度は2割から3割であり、ともに低い数値となっている。今後は、新図書館整備事業を着実に推進する必要がある。
	満足度	0.18	0.13	
2 公民館などの施設や行事内容が充実している	重要度	0.75	0.70	
	満足度	0.09	0.12	
3 図書館が充実している	重要度	0.94	0.91	
	満足度	0.07	0.15	
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

## 総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<b>B</b> まずまず進んでいる	<p>「読書活動の推進」については、「亀山市立図書館整備基本計画」に基づき、新図書館の設計協議を進められたことは一定の評価ができるため、個別判定をA評価とした。</p> <p>一方で、「地域へ生かせる学びの展開」については、中央公民館活動推進事業は計画どおり実施できたものの、かめやま人キャンパスを軸とする学びの再構築に向けた事業において、年度内に最終的なカリキュラム策定に至らなかったことから個別判定をBとした。「誰もが学べる環境づくり」については、学びの情報化の一元化を進めたが、行政内の多様な学びを網羅するまでに至っていないことから個別判定をBとした。これらの評価と併せて3つの成果指標のH30実績値が頭打ち状態にあることから総合判定をBとした。</p>
反省点・課題	
<p>「地域へ生かせる学びの展開」と「誰もが学べる環境づくり」については、かめやま人キャンパスの立ち上げや学びの情報化の一元化に努めた。今後は、その周知方法や地域課題に即した学びのテーマなどを検証していく必要がある。併せて、かめやま人キャンパスを軸とした新しい学びの体系について、より全庁的な展開を図る必要がある。</p> <p>「読書活動の推進」については、図書館まつりなどのボランティアとの協働による新たな展開を新図書館整備に向けた取り組みとして、より密な連携関係を構築させていく必要がある。</p>	

## 今後の展開方針

生涯学習計画に基づいて地域で求められる学びと人材育成について、かめやま人キャンパスを軸に学びの成果を起業や市民活動などの中間支援など、より効果的に地域社会に生かせる仕組みのモデル化を進めるとともに、多様な学びについての情報発信の一元化も併せて全庁的な合意形成を進める。

2022年の亀山駅前の多機能型図書館の開館を目指し、引き続き、図書館整備推進委員会や市民ワークショップ等での市民の意見を尊重しながら、新図書館の管理運営方法及び蔵書計画等の検討を図っていく。なお、事業の推進については、駅前市街地再開発事業との一層の連携を図りながら進めていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		地域へ生かせる学びの展開					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	地域人材の育成を目的としたかめやま人キャンパスの開催に向けた推進委員会を立ち上げ、全体の流れ、カリキュラムの検討、周知手法、目指す姿の検討を行った。また、ネーミングやロゴマークの披露も兼ねたプレ講座を開催し、事業の周知を図った。		推進委員会の立ち上げとくみづくりも含めた概ねの方向性を示すことはでき、キックオフイベントの開催を行った。ただ、年度内に具体的なカリキュラム案の提示までは至らなかった。			
		まずまず進んでいる	評価				
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17055	地域人材キラリ育成事業		主	14,794 / 13,971	A	B
事業以外の取組	内容					活動	成果
	「地域を学ぶ」をテーマとした行政出前トークの開講					B	B

施策の方向		読書活動の推進						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A	活動	図書館を身近な存在と感じてもらい取り組みとして、これまで図書館に足を運ぶ機会がなかった利用者層を意識して、図書館ボランティアとの協働による図書館まつりや講座など来館動機の創出を行った。また、図書館整備事業については、基本設計や図書館を核としたまちづくりをテーマとしたワークショップを開催して市民意識の醸成を図った。		図書館まつりは初めての試みで午前中だけの開催であったが、300人を超える参加者を得て、一定の図書館への意識醸成を図ることができた。ただ、周知不足の面があったことは否めない。ワークショップの参加者が減少傾向にあったが、図書館を核としたまちづくりをテーマではこれまでに最も多い参加を得て、事業の周知に結び付いた。				
		順調に進んでいる	評価					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果	
	17107	図書館整備事業		主	975 / 603	A	A	
事業以外の取組	内容					活動	成果	
	図書館ボランティアと協働した赤ちゃんタイムの実施					A	A	
					ファミリー読書リレー・ブックスタートの実施		B	B

施策の方向		だれもが学べる環境づくり					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	すべてのコミュニティセンターで中央公民館講座を実施するとともに、講座内容を自己のスキルアップにとどまらず、かめやま人キャンパスにも連携できるような内容を盛り込んだ。また、行政講座を中心とした学びを集約したガイドブックにより一元的な情報発信を図った。		かめやま人キャンパスと中央公民館講座の学びのすみわけをおこなうとともに、行政講座の情報の一元化に向けた整理を行った。ただし、類似講座の調整や情報発信の一元化までは至っていない。			
		まずまず進んでいる	評価				
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17055	地域人材キラリ育成事業		主	14,794 / 13,971	A	B
事業以外の取組	内容					活動	成果